

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成25年7月25日 (19:00~20:20)		
実施場所	下布川地区コミュニティセンター	参加人数	22人
参加対象	下布川地区協議会(五十子平、坪野、赤倉、東山集落)		
市側の出席者	<p>1. 発言者 橋詰集落から東山集落までの道路について、道路が傷んでいて通行に支障が出ている。</p> <p>市長 国県道については県に要望する。市道についてはすぐに確認し、対応について検討させてもらう。</p> <p>2. 発言者 集落に防災ラジオが配布されていない家があるので対応をお願いしたい。このあたりは電波状況が悪いので改善してほしい。</p> <p>市長 ラジオについてはすぐに対応させてもらう。電波についても確認する。</p> <p>3. 発言者 集落の人口が減って施設の管理が難しい。市で対応してもらえないか。</p> <p>市長 括りを大きくして地域で対応するのも手段の1つではないか。協議会、地域自治組織等でも難しくなれば行政でどう対応するか考える必要があると思う。</p> <p>4. 発言者 高齢化対策について、具体的な考えがあれば教えてほしい。</p> <p>市長 若い人が住むには屋根雪処理や細かい道路除雪等、雪対策と買い物ができる仕組みは必要だと思う。あと「孫世代」は田舎の良いところをわかっており、この世代が帰ってくることを期待している。</p> <p>5. 発言者 市道除雪の出動基準について、12月と3月は15cm以上積雪があった時点となっているが、国道及び県道は冬季間常に10cmとなっている。市道も国県基準にしてほしい。</p>		

市長

合併前の基準も含め確認させてもらいたい。

6. 発言者

保育料の軽減のお話があったが、軽減の先にイメージしているビジョンを教えてください。収入が減ることで、保育園の職員数が減ることがないか心配である。

市長

保育料は国の基準額があり、軽減した分を市が負担している。市では軽減分として年間約5千万円支出しているが、さらに支出できると思っている。さらに支出することで、保育料を軽減することもできると思うが、こういった支援がより効果的か勉強中である。

保育園の職員数も国の基準がありそれに準じているが、十日町市で子育てをしたいと思わせるような、子育てにやさしいまちづくりを進めていきたい。

7. 発言者

この地域は夜間や週末に作業や行事が多く、若手も少ない。区長等役員のなり手も少なくなっている。20年後、30年後この集落に住む人がいなくなるまで支えていけるような仕組みができないか。

市長

集落の維持を仕事にしてそれに対し給料を支払うというのも検討したい。また、職員OBが関わっているようなので、もっと前に出てもらう仕組みを考えるのも良いのではないか。

8. 発言者

松之山診療所を維持してほしい。

市長

医師の後継者を見つけなければいけない。松之山診療所だけでなく、上村病院バスや松代病院を含めてどのように医療体制を維持していくか考えていきたい。